

NEWS RELEASE

海外向け鉄道車両用情報システム事業を強化

フィンランド EKE-Electronics Ltd.への出資のお知らせ

三菱電機株式会社は、列車統合管理システム（TCMS^{※1}）の製品力強化と鉄道車両の状態監視保全（CBM^{※2}）への支援システムの技術確立のため、TCMSなどの鉄道車両用情報システムやその周辺機器を製造・販売するフィンランドの EKE-Electronics Ltd.（エケ・エレクトロニクス社。以下、EKE 社）の株式 34%を取得しました。

今後、EKE 社との協業を進め、海外向け鉄道車両用情報システム事業の拡大を図ります。

※1 TCMS : Train Control and Management System

※2 CBM : Condition Based Maintenance

EKE 社の概要

社名	EKE-Electronics Ltd.
代表者	Marko Mäkinen (マルコ・マキネン) (Managing Director)
所在地	フィンランド共和国 エスポー市(本社)、中華人民共和国 上海市、英国 ロンドン市
資本金	17 千ユーロ(約 2 百万円)
設立	1986 年
従業員数	90 名(2019 年 12 月末)
売上高	約 17,500 千ユーロ(約 20 億円)(2019 年度)
事業内容	TCMS とその周辺機器、TCMS を活用した鉄道車両の状態監視システムなどの製造・販売・保守
ホームページ	https://www.eke-electronics.com/

EKE 社への出資の狙い

現在、鉄道分野では、サービス向上や鉄道車両の運行に支障が生じた際の対応の迅速化、保守業務の省力化に向けて、IoT やビッグデータなどのデジタル技術の活用が進んでいます。世界最大の鉄道市場である欧州をはじめとして、デジタル技術を活用した鉄道システムの競争力強化が求められており、TCMS などの鉄道車両用情報システムの重要性が高まっています。

当社は今回、鉄道車両用情報システムやその周辺機器を製造・販売し、欧州以外にもアジア、オセアニアで豊富な納入実績を持つ EKE 社へ出資することで、海外向け列車統合管理システム（TCMS）の製品力強化と鉄道車両の状態監視保全（CBM）への支援システムの技術確立を目指します。また、両社の販路やノウハウの活用により、海外向け鉄道車両用情報システム事業の拡大を図ります。

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機株式会社 社会システム海外事業部
〒100-8310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号
E-Mail : transportation@ny.MitsubishiElectric.co.jp